

資料提供	令和6年4月18日
課名	健康危機管理課 (感染症・疾病管理センター)
担当者	片平
電話(直通)	082-513-3068
(内線)	3068

インフルエンザ警報の解除について

広島県感染症発生動向調査による令和6年第15週（4月8日から4月14日）の定点医療機関（110医療機関）からのインフルエンザの報告患者数が、県内すべての保健所管内（7保健所）で国立感染症研究所が示している警報継続基準値（定点当たり10）を下回りました。

また、春休み明けの感染の再拡大も認められず、県内のインフルエンザの流行は終息に向かっていと考えられるため、令和5年11月24日に発令したインフルエンザ警報を本日（4月18日）解除します（過去10年で最も長い警報発令期間）。

【広島県の今シーズン（令和5年～令和6年）の概要（令和6年4月18日現在）】

- 全国同様、シーズン（令和5年第36週（9月4日～9月10日）から）に入る前から報告患者数が増加し、令和5年9月7日に流行入り（過去10年で最も早い）、9月7日（流行入りと同時）及び10月5日に注意報発令、11月24日に警報を発令（4年ぶり）していました。
- 流行のピークは、令和5年第49週（12月4日～12月10日）でした。
- すべての保健所管内で警報開始基準値（定点当たり30）以上となり、特に福山市保健所管内では、令和5年第49週に定点当たり53.61まで上昇しました。
- 検出されたインフルエンザウイルスは、令和5年内は例年のAH1pdm09型及びAH3型が主流で、令和6年にはB型も多く検出されました。
- 年齢階層別の報告数累計割合は、15歳未満が全体の約8割を占め、例年と同じ傾向でした。
- インフルエンザ様疾患（新型コロナを除く。）で休校や学級閉鎖等の措置を行った学校等の報告数は、令和6年第15週時点で延べ1,576件、最も報告数が多かったのは、令和5年第49週（12月4日～12月10日）の149件でした。

●県内の流行状況【令和6年第15週（4月8日～4月14日）】

保健所名	県保健所				広島市	呉市	福山市	県内計
	西部	西部東	東部	北部				
定点当たり患者数（人）	1.13	2.80	4.13	3.67	1.32	0.09	1.89	1.91
報告患者数	18	28	62	22	45	1	34	210
定点医療機関数	16	10	15	6	34	11	18	110

※ 報告患者数とは・・・定点報告の対象となる五類感染症については、広島県が指定した医療機関(定点医療機関)から、1週間ごとに患者数が報告されます。(インフルエンザは110医療機関からの報告)

定点当たり患者数とは・・・これらの定点医療機関からの報告患者数を定点医療機関数で割った値の事です。

インフルエンザについての詳しい情報は、次のホームページを御覧ください。

- インフルエンザの流行状況(広島県感染症・疾病管理センター/ひろしまCDC)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-kansen-wadai-zyouhou-inf-zyouhou.html>